ことを承認させた。これが卽ち世に二十一箇條の條約と稱するものである。

復辟運動と支那參戰

參戰問題

支那は、ヨーロッパの大戰亂に對し、はじめのほどは、中立を守つてゐたが、黎元洪の大總統就任後、まもなく、參戰問題について、國會と國務院（卽ち內閣）との間に、爭をひき起した。黎元洪は參戰論者の國務總理段祺瑞を免職して、その爭を解かうとし、かへつて、段祺瑞に與してゐる將軍等の反抗を招いたので、安徽督軍張勳を召した張勳は、兵をひきゐて、北京に入り、黎元洪をしてまづ國會を解散させ、ついで、突然、復辟（宣統帝の復位）をとなへて、一時、共和政府をたふしたが、段祺瑞等に討たれて、たちまち失敗した。時に二五七七年（1917）（大正六年）七月である。この事變の結果、黎元洪は、責を引いて辭職し、副總統馮國璋が、大總統の職を代行し、再び段祺瑞を國務總理に任じ、八月、遂にドイツ・オーストリヤに對して宣戰した。

張勳の復辟運動

對獨墺宣戰

支那の內紛

廣東政府

さきに黎元洪が國會を解散した時、難を南方に避けた多數の議員等は、今や、馮國璋・段祺瑞の就職したのを見て、その違法なることを主張し、別に軍政府を廣東にたて、孫文を大元帥に推して、北京政府に對抗し、しきりに舊國會の再興をとなへてやまなかつた。これに對して、馮國璋は、新國會を召集し、二五七八年（1918）（大正七年）、その任期の滿つると共に退職し、新國會によつて新たに選擧された徐世昌が、この年十月、大總統就任の式を擧げた。ついで南北兩政府の代表者は、上海に會して、和平會議を開いたが、雙方の意見が一致しないために、遂に決裂に終り、依然として、南北對抗の勢をつづけた。

馮國璋の退任と徐世昌の就任

南北和平會議の決裂

やがて、北方派中、段祺瑞等のひきゐてゐた安徽派と、曹錕等のひきゐてゐた直隸派と相きしり、二五八〇年（1920）（大正九年）、遂に戰端を開き、直隸派は、奉天派の頭領張作霖の援を得て、たちまち安徽派を屈伏させた。

安徽派と直隸派との軋轢

南方に於ても、その翌年、孫文が民國政府を廣東に設けて、みづから

廣東に於ける民國政府

大總統と稱した。

ワシントン會議

膠州灣地方還付

ワシントン會議及び膠州灣地方還付　この年、米國大統領ハーヂングの申出により、五大國〔日・英・米・佛・伊〕及び四國〔支那・ベルギー・オランダ・ポルトガル〕の全權委員は、ワシントンに集つて、會議を開き、翌年二月に至つて、五大國の海軍力制限の外に、支那の主權及び領土を尊重し、且、その關稅率の改訂を承諾することをも約し、支那の平和と利益とのためにはかる所があつた。またこの會議に於て、日本・支那兩國は、膠州灣地方の還付等に關する約束を結び、日本は、やがて、これを實行し、山東省在留の軍隊を引きあげた。

奉直戰

支那の內爭　しかるに、支那人は、相かはらず、政權爭奪を事とし、ワシントン會議の後、ほどなく、直隸派の領袖吳佩孚が、張作霖と戰を開いた。この戰亂は、奉天派の敗北によつて、たちまち定まつたが、これを制止することの出來なかつた徐世昌は、遂にその職を辭し、黎元洪の復職をへて、二五八三年〔大正十二年〕1923、直隸派の頭領曹錕が大總統に選ばれた。しかるに、翌年、また國內に動亂が起り、ひいて、奉天派と直隸派との交戰となり、奉天派が勝利を得た結果、段祺瑞が、臨時執政に就任した。段祺瑞は、就任後、たえまなき軍閥の勢力爭の間にあつて、苦心百端する所があり、また外交上に於ては、關稅改訂の事にも努力したのであつたが、在職、わづかに一年半ばかりで、二五八六年〔大正十五年〕1926、四月、野に下つた以後、支那にはまた正式の政府がなく、北方軍閥と南方國民黨との間に種種のうづまきを起してゐる。

黎元洪の復職

曹錕の大總統就任

再度の奉直戰と段祺瑞の臨時執政

支那の現勢　支那の現勢は、右の如くであるのに、外蒙古は、さきに既に獨立を宣言し、チベットも、また獨立をとなへてゐるから、支那の領土は、まさに解體せんとしてゐる。その上に、支那の財政困難は、今や、その極度に達して、またいかんともすべからざる有樣である。

漢族と異族との關係

支那の地位　從來、漢族を壓迫した周圍の異族は、武力に於て、まさ

漢族と歐米諸民族

つた所があつたが、文化に於ては、つねに漢族よりもおとつてゐた。それ故、異族は、武力を以て漢族を征服しながらも、かへつて、かれらの文化に征服されたのであつた。しかるに、今日、漢族の周圍に迫つてくるものは、武力に於ても、文化に於ても、はるかにすぐれた歐・米の諸民族である。これ支那が、文化の相類してゐる武强の民族と、相賴り相助けるを必要とする所以である。支那の國民たるものは、ふかく思をここに致すべきであらう。

アジヤとヨーロッパとの面積の比較

東洋の現勢とわが國の地位

アジヤ洲の全面積は、約二百八十萬方里で、ヨーロッパ洲の全面積六十四萬方里にくらべると、その四倍以上に達してゐる。しかるに、現今、獨立國としてアジヤに立つてゐるものは、わが日本帝國の外に、わづかに支那・シャム・アフガニスタン・ペルシヤ等の數國と、ヒマラヤ山下のネパール・ブータン等の二三地域とがあるのみである。しかも、支那は、近年、その國勢が甚だ振はず、

アジヤに於ける獨立國

遂に革命を敢行(カンカウ)して、アジヤ唯一の共和國となつたが、果してよく國運をもりかへすことが出來るかどうか。けだし、これは大なる疑(ギ)問(モン)とすべきであらう。また支那以外の諸國に至つては、からうじてその獨立をたもつといふに過ぎない有樣であるから、眞に獨立國の體面を全うして、世界の列强と東洋に角逐(カクチク)する實力と意氣とをもつてゐるものは、ただわが日本だけであるといつてよろしいのである。アジヤ諸民族往時の活動を見來つて、現時のこのあはれむべき狀態に及べば、實に感慨に堪へないと同時に、わが國民の使命のいかにも重大であるのを思はざるを得ないのである。日本國民たるものは、相一致して、大いに奮發努力しなければなるまい。

日本國民の使命の重大

概括

近世期は、明が亡びた二三〇〇年頃から、現今に至るまでの間で、わが第百十代後光明天皇の御代から、現今までの間に相當する。この期に於ては、西力が盛んに東進し來り、ロシヤは、シベリヤ及び中央アジヤを略し、イギリスは、印度・バルマを併せ、フランスは、印度支那半島を取り、ドイツ・オランダ・ポルトガル・アメリカ合衆國等の國國も、また或は前期に略取した地を守り、或は新たにその屬領地を占めた。この西人の東進にともなつて、キリスト教をはじめ、天文・數學・地理等の西洋の學藝が、また支那に傳來したが、最近に至るまでは、なほさほどいちじるしい影響を漢文化の上に及ぼしてはゐない。

清國は、この期のはじめに、一時、隆盛を極めたのであつたが、列强の壓迫と、内政の腐敗とによつて、國勢が、日に月にかたむいた。日・清の役後は、その衰弱が、一層甚しくなつて、革命の旗が、一たび武昌にかかげられると、二百餘年、つづいて來た女眞族の清朝は、もろくもくつがへり、漢族を中心とした共和政體の中華民國が建設された。この中華民國は、アジヤ唯一の共和國で、創立以來、既に十七年になるが、支那は、なほ國内の紛爭になやんでゐる。

今や、アジヤ大陸の過半は、既にヨーロッパ人の手に歸して、獨立强國の名と實と共に全きものは、ただわが日本があるのみである。日・支兩國民は、古今の成敗東西の興亡にかんがみ、相賴り相助けて、共存共榮の實を擧げ、ひいては東洋文化の宣揚（センヤウ）につとめねばならぬ。

女子用　**新編東洋史**　終

二五〇二（宣宗）　琉球の役の結果琉球は清と日本に属する

二五〇七（孝明）　ムラヴィヨフ東部シベリヤ總督となる

二五一〇（孝明）　長髮賊起る

二五一七（孝明）　英佛聯合して清と開戰す。モゴル帝國亡ぶ

二五一八（孝明）　愛琿條約成る

二五一九（孝明）　フランス、サイゴンを占領す

二五二〇（孝明）　英佛聯合軍北京に陷る。ロシア高麗国境に出現す

二五二一（文宗）

年表（四）

年代は皇紀に據る

時代	國號	年代	（天皇）	重なる事蹟	（清帝）
近	清	2276—2572			
		二三〇四	（後光明）	都を北京に遷す	（世祖）
		二三一八	（後西）	モゴル帝アウランゼブ即位	（世祖）
		二三二一	（後西）	鄭成功臺灣に據る	（聖祖）
		二三三二	（靈元）	フランス人ポンヂシェリーを占領す	（聖祖）
		二三三三	（靈元）	三藩の亂起る	（聖祖）
		二三四三	（靈元）	臺灣清領となる	（聖祖）
		二三四九	（東山）	ネルチンスク條約成る	（聖祖）
		二三五六	（東山）	ズンガルを親征す	（聖祖）
		二三八〇	（中御門）	チベット清に降る	（聖祖）
		二四〇七	（櫻町）	金川を平ぐ	（高宗）
		二四一七	（桃園）	プラッシーの戰	（高宗）
		二四二〇	（桃園）	回部平定	（高宗）
		二四六二	（光格）	阮福映の越南建國	（仁宗）
		二四九九	（仁孝）	林則徐の鴉片燒棄	（宣宗）
		二五〇〇	（仁孝）	鴉片の役起る	（宣宗）
		二五〇二	（仁孝）	鴉片の役の結果南京條約成る	（宣宗）
		二五〇七	（孝明）	ムラヴィヨフ東部シベリヤ總督となる	（宣宗）
		二五一〇	（孝明）	長髮賊起る	（宣宗）
		二五一七	（孝明）	英佛聯合して清と開戰す。モゴル帝國亡ぶ	（文宗）
		二五一八	（孝明）	愛琿條約成る	（文宗）
		二五一九	（孝明）	フランス、サイゴンを占領す	（文宗）
		二五二〇	（孝明）	英佛聯合軍北京を陷る。ロシヤ烏蘇里江東の地を得	（文宗）
		二五二三	（孝明）	カンボヂヤ、フランスの保護國となる	（穆宗）
		二五二四	（孝明）	長髮賊の亂平ぐ	（穆宗）
		二五二八	（孝明）	ブカラ、ロシヤの保護國となる	（穆宗）
		二五三一	（明治）	ロシヤ人イリを占領す	（穆宗）
		二五三三	（明治）	キヴァ、ロシヤの保護國となる	（穆宗）
		二五三五	（明治）	千島樺太交換	（德宗）
		二五三六	（明治）	コーカンド汗國、ロシヤに滅ぼさる	（德宗）
		二五四一	（明治）	イリ條約成る	（德宗）
		二五四三	（明治）	越南、フランスの保護國となる	（德宗）
		二五四四	（明治）	清佛開戰	（德宗）
		二五五三	（明治）	フランス、メコン河東の地を略す	（德宗）
		二五五四	（明治）	日清開戰	（德宗）
		二五五五	（明治）	パミール問題解決	（德宗）

年表（四）

年代は皇紀に據る

時代	國號	年代	（天皇）	重なる事蹟	（清帝）
近世	清 2276—2572	二三〇四	（後光明）	都を北京に遷す	（世祖）
		二三一八	（後西）	モゴル帝アウランゼブ即位	（世祖）
		二三二一	（後西）	鄭成功臺灣に據る	（聖祖）
		二三二二	（靈元）	フランス人ポンヂシェリーを占領す	（聖祖）
		二三三三	（靈元）	三藩の亂起る	（聖祖）
		二三四三	（靈元）	臺灣清領となる	（聖祖）
		二三四九	（東山）	ネルチンスク條約成る	（聖祖）
		二三五六	（東山）	ズンガルを親征す	（聖祖）
		二三八〇	（中御門）	チベット清に降る	（聖祖）
		二四〇七	（櫻町）	金川を平ぐ	（高宗）
		二四一七	（桃園）	プラッシーの戰	（高宗）
		二四二〇	（桃園）	回部平定	（高宗）
		二四六二	（光格）	阮福映の越南建國	（仁宗）
		二四九九	（仁孝）	林則徐の鴉片燒棄	（宣宗）
		二五〇〇	（仁孝）	鴉片の役起る	（宣宗）
		二五〇二	（仁孝）	鴉片の役の結果南京條約成る	（宣宗）
		二五〇七	（孝明）	ムラヴイヨフ東部シベリヤ總督となる	（宣宗）
		二五一〇	（孝明）	長髮賊起る	（宣宗）
		二五一七	（孝明）	英佛聯合して清と開戰す。モゴル帝國亡ぶ	（文宗）
		二五一八	（孝明）	愛琿條約成る	（文宗）
		二五一九	（孝明）	フランス、サイゴンを占領す	（文宗）
		二五二〇	（孝明）	英佛聯合軍北京を陷る。ロシヤ烏蘇里江東の地を得	（文宗）
		二五二三	（孝明）	カンボヂヤ、フランスの保護國となる	（穆宗）
		二五二四	（孝明）	長髮賊の亂平ぐ	（穆宗）
		二五三一	（明治）	ブカラ、ロシヤの保護國となる	（穆宗）
		二五三三	（明治）	ロシヤ人イリを占領す	（穆宗）
		二五三五	（明治）	キヴア、ロシヤの保護國となる	（穆宗）
		二五三六	（明治）	千島樺太交換	（穆宗）
		二五四一	（明治）	コーカンド汗國、ロシヤに滅ぼさる	（德宗）
		二五四三	（明治）	イリ條約成る	（德宗）
		二五四四	（明治）	越南、フランスの保護國となる	（德宗）
		二五五三	（明治）	清佛開戰	（德宗）
		二五五四	（明治）	フランス、メコン河東の地を略す	（德宗）
		二五五五	（明治）	日清開戰	（德宗）
		二五五七	（明治）	パミール問題解決	（德宗）
		二五五八	（明治）	獨逸膠州灣を占領す	（德宗）
		二五五九	（明治）	獨露英三國、清の港灣を租借す	（德宗）
		二五六二	（明治）	フランス、廣州灣を租借す。義和團の亂起る	（德宗）
		二五六四	（明治）	日英同盟成る	（德宗）
		二五六八	（明治）	日露開戰	（德宗）
		二五七〇	（明治）	德宗及び西太后死す	（宣統帝）
		二五七一	（明治）	日韓の併合	（宣統帝）
		二五七二	（明治）	革命軍起る	（宣統帝）
	支那共和國 2573—	二五七二	（明治）	清の滅亡	
		二五七三	（大正）	中華民國起る	
		二五七四	（大正）	袁世凱大總統となり支那共和國成立す	
		二五七五	（大正）	歐洲戰亂起る。日獨開戰	
		二五七六	（大正）	日支條約成る	
		二五七七	（大正）	袁世凱死し黎元洪大總統となる	
		二五八四	（大正）	支那獨墺二國に宣戰す。張勳の復辟運動失敗	
		二五八六	（大正）	段祺瑞臨時執政に就任す	
				段祺瑞下野	

昭和三年八月七日印刷
昭和三年八月十日發行
昭和四年一月十二日訂正再版印刷
昭和四年一月十五日訂正再版發行

定價金六拾四錢
昭和四年度臨時定價金壹圓六錢

著作者　東京府北豐島郡西巢鴨町池袋一三四五番地　峯岸米造
發行者　東京市神田區通神保町六番地　上原才一郎
印刷者　東京市神田區通神保町六番地　山崎與吉
發行所　東京市神田區通神保町六番地　光風館書店
（電話神田三〇八七番）
（振替口座東京三二七番）

著作權所有

本館發行の教科書は常に多數の製本準備有之候につき萬一各地賣捌所に賣切等にて課業に御差支の節は直接御注文被下候はば直に御送附可致候

凸版印刷株式會社本所分工場印刷

KŌFŪKAN
芳風館

広島大学図書
2000081259